

## 「高松紋平柿」ブランド力向上の取組み支援 ～高級贈答品として県内外へ～

県央農林総合事務所

紋平柿は、古くから宝達山系に自生していた本県在来の渋柿品種です。大玉でツヤのある外観や滑らかで舌触りの良い食感と甘みが特徴で、かほく市で生産される紋平柿は、「高松紋平柿」として10月下旬から11月下旬頃まで出荷されています。

高松紋平柿生産組合では令和元年からブランド力向上に取り組んでいます。金沢市中央卸売市場の初せり時には、最上位規格「プレミアム」（重さ300gの大玉、糖度16度以上、外観が優れた果実だけを厳選）に1箱10万円という高値がつき、毎年マスコミに大きく取り上げられています。

「高松紋平柿」の知名度が向上し、贈答用商品としての需要が高まった結果、令和4年には、石川県独自の優れた農林水産物「百万石の極み」に認定されました。これをきっかけとして、これまでの地元市場中心の販売に加え、東京への販路開拓が実現しました。

現在、県央農林ではJAとともに、お歳暮ギフト需要に対応するべく、貯蔵技術の導入を支援しています。今後も関係機関と一体となって、産地の活性化に向けた取組を進めてまいります。



ギフト需要に応えるため栽培講習会で  
熱心に耳を傾ける生産者

問い合わせ先：農業振興部（076-239-1751）